

2018年7月26日

# 7月豪雨災害街頭募金活動実施



7月に日本列島を襲った豪雨災害は、西日本を中心に甚大な被害をもたらしました。今なお（7月25日現在）行方不明者もいる状態で平成以降最悪の水害被害となっております。立憲民主党栃木県第1区総支部としても何かできることをしたいという思いから7月14日～16日、18日の4日間にかけて東武宇都宮駅前をお借りし街頭での募金活動を実施しました。暖かい言葉とともに、16万6331円もの浄財を頂きました。立憲民主党本部を經由し、被災者支援のために使わせて頂きます。立憲民主党栃木県連としては一日も早い被災地の復興のために、引き続き募金活動を続けていきます。



広島県三原市で災害ボランティアに参加してきました。

## 渡辺のりよし

1983年生まれ。陽南中学校、宇都宮高校、早稲田大学政治経済学部卒業。在ジョージア・タジキスタンの日本国大使館や東日本大震災の被災地での勤務、松下政経塾を経て、立憲民主党栃木1区総支部長に就任。

## 豪雨被害の中で、国会では。

西日本で豪雨が甚大なる被害を出す中、国会に目を向けると、参議院の議員定数増法案と、IR法案が審議不十分なまま可決されました。自民党の党利党略のためとしかうつらない議員定数増と、ギャンブル依存症の問題も指摘されているIR法案、世論調査でも反対が多いにもかかわらず、与党の数の力で物事が決まっていく今の政治に強い危機感を覚えます。

与党側の自浄作用も期待できない状況下で、政治に緊張感をもたせ、まっとうな政治を取り戻すためには、やはり野党としても次の選挙で議席を増やしていくしかないと考えます。その為には市民の皆様のお力が必要です。ここ栃木の地で、立憲民主党と共に歩んでくださる方を必要としております。気軽にご連絡頂ければ幸いです。